



IT Automation

クイックスタート

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

Exastro IT Automation Version 1.10
Exastro developer

目次

1. はじめに

- 1.1 [はじめに](#)
- 1.2 [本書のシナリオと作業範囲の位置づけ](#)
- 1.3 [各種用語の説明](#)

2. 画面説明

- 2.1 [Webコンソール画面\(ログイン\)](#)
- 2.2 [画面説明\(メインメニュー\)](#)
- 2.3 [画面説明\(各メニュー\)](#)

3. 実行前準備

- 3.1 [Playbookをアップロードしてジョブ\(Movement\)に紐付け](#)
- 3.2 [ジョブ\(Movement\)をジョブフロー\(Conductor\)に組込み](#)
- 3.3 [CMDBにパラメータシートを設定](#)
- 3.4 [パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け](#)

4. 実行操作(1回目)

- 4.1 [機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録](#)
- 4.2 [作業名\(Operation\)の登録](#)
- 4.3 [パラメータシートにデータを登録](#)
- 4.4 [ジョブフロー\(Conductor\)の実行](#)
- 4.5 [実行結果の確認](#)

目次

5. 実行操作(2回目)

- 5.1 [作業名\(Operation\)の登録](#)
- 5.2 [パラメータシートにデータを登録](#)
- 5.3 [ジョブフロー\(Conductor\)の実行](#)
- 5.4 [実行結果の確認](#)

6. CMDBパラメータの履歴確認

- 6.1 [作業実行と履歴管理](#)
- 6.2 [CMDBパラメータの履歴を確認する](#)

A 付録

- 参考① [【Ansible-Legacy】単体実行](#)
- 参考② [【Ansible-Legacy】実行確認](#)

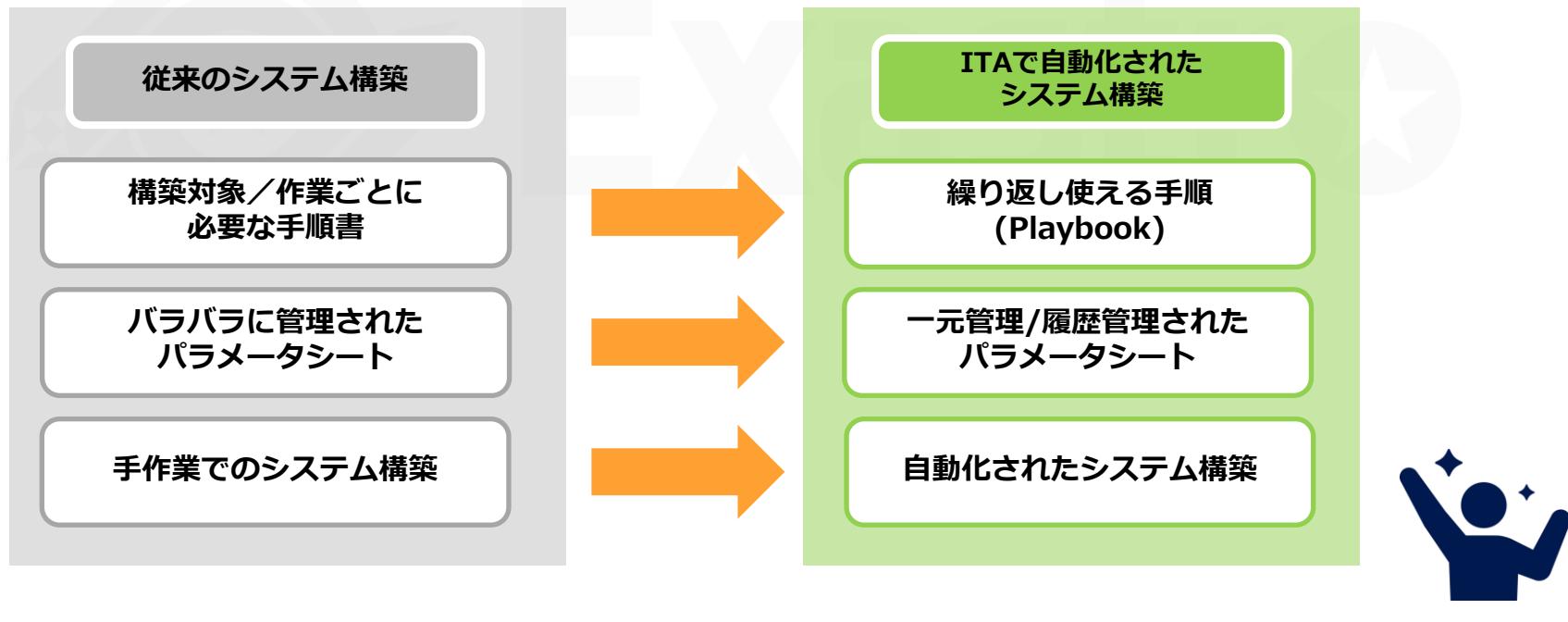
1. はじめに



1.1 はじめに (1/2)

本書は、はじめて IT Automation (以下ITAと記載) に触れるユーザが、ITAのインターフェースをスムーズに体感できるクイックスタートの手順書としてご活用できます。

システム構築においてよくあるLinuxサーバのパッケージのインストール作業を通して、構築対象サーバごとの作業とパッケージ管理を自動化・一元管理化を行い、従来のシステム構築とは異なるITAを使用した効率的なシステム構築を体感できます。



1.1 はじめに (2/2)

■ 本クイックスタートで体感できる主なITA機能の範囲

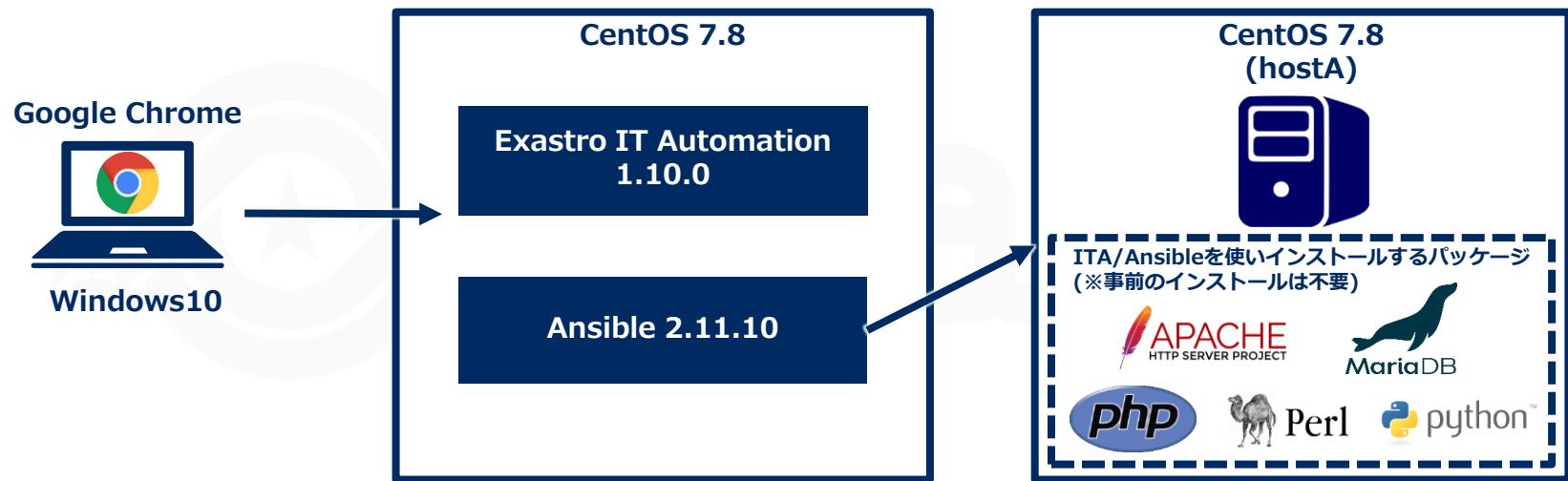
- ・自動化ソフトウェア(Ansible)との連携
- ・パラメータ管理(メニュー作成・登録・履歴管理等)
- ・変数紐付け(代入値自動登録)



1.2 本書のシナリオと作業範囲の位置づけ (1/3)

本シナリオではAnsibleドライバを使用し、Linuxサーバ構築で実施するyumパッケージのインストール作業を構築対象サーバごとにパラメータ管理し、構築作業の自動化を行う内容となっています。

■ 作業環境

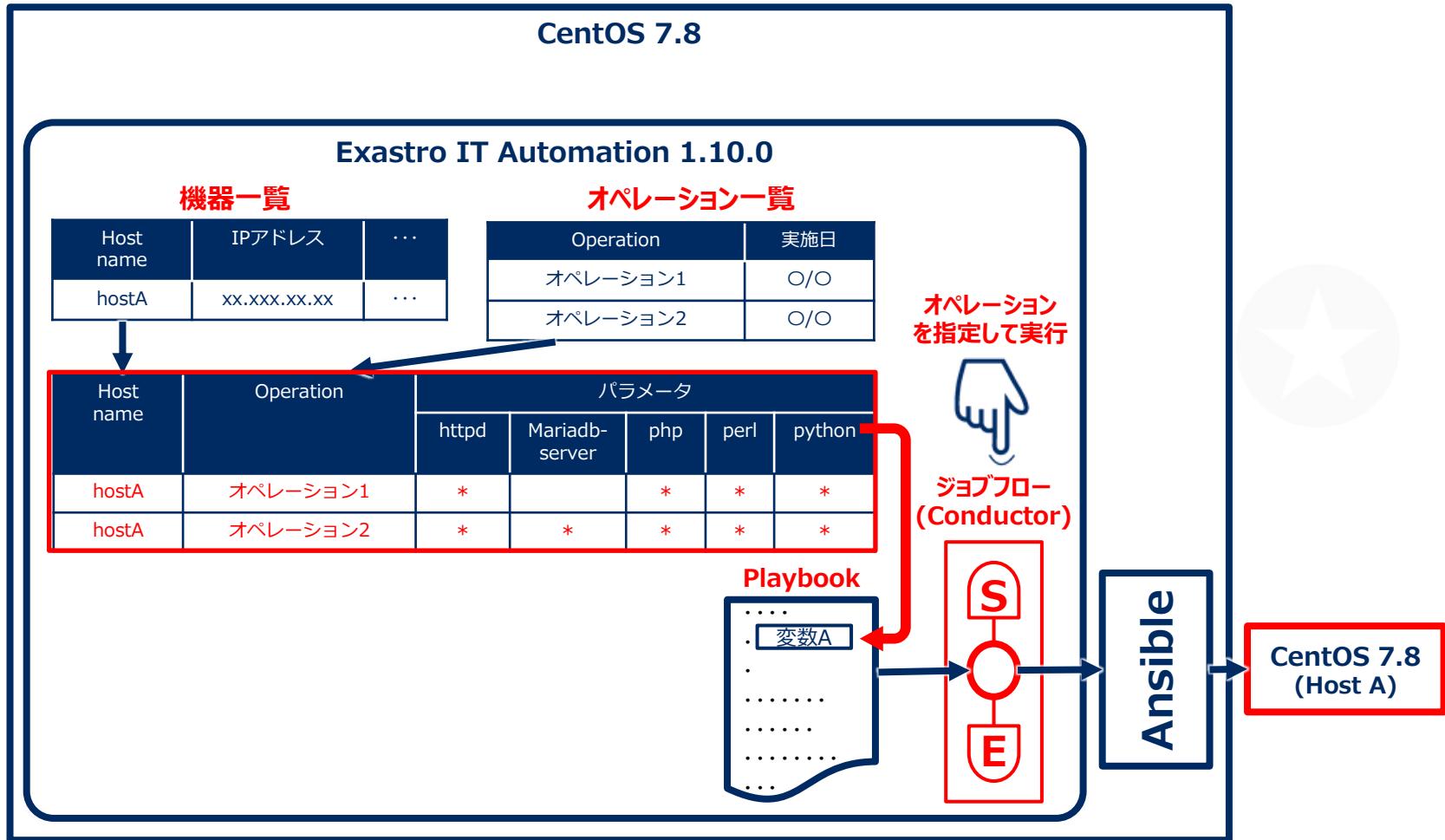


使用するシステム

- Exastro IT Automation 1.10.0
- CentOS Linux 7.8(ITAサーバ用)
- CentOS Linux 7.8(ターゲットマシン用)
- Windows 10(クライアント)
- Google Chrome (Win10側)

1.2 本書のシナリオと作業範囲の位置づけ (2/3)

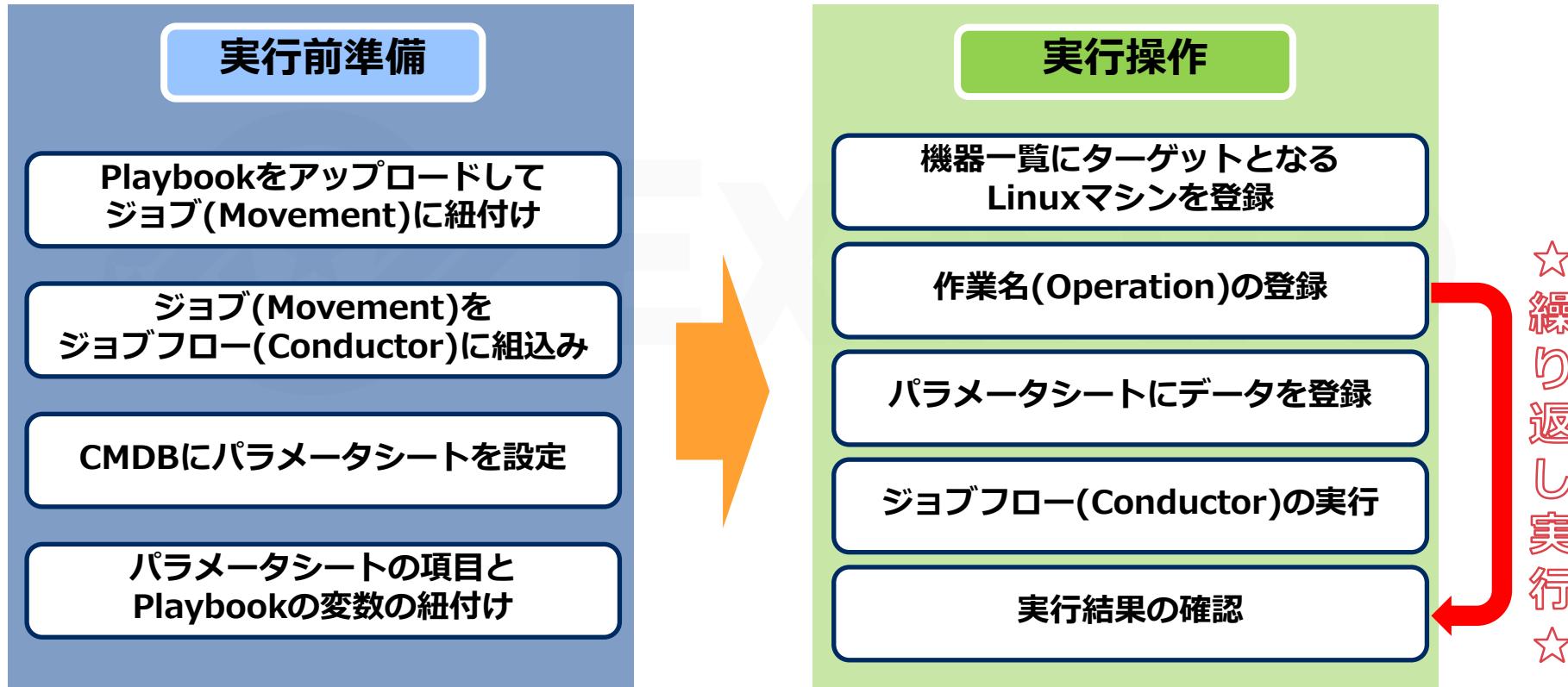
シナリオの実行イメージ



1.2 本書のシナリオと作業範囲の位置づけ (3/3)

インストール後からAnsible-Legacyを実行するまでのシナリオ

- シナリオと、開発者(実行前準備)／作業者(実行操作)の作業範囲については以下の通り。



1.3 各種用語の説明

■ 本シナリオに登場する主な用語

用語	説明
Playbook	定型業務をタスクで記述し、Ansibleに実行させるためのファイルです。YAML形式で使用します。
Ansible-Legacy	ITA から Ansible を利用する機能です。Legacy コンソールでは、構築コードとして単体のYAMLファイルを使う場合に使用します。
オペレーション名 (Oparation)	ITA での作業実行単位。作業予定、実行履歴などを管理することができます。
Conductor	ITA での一連の作業の単位。オペレーション名と関連付けて実行します。Node と呼ぶ各種パートを組み合わせて、ジョブフローを作成し、複数の機器に対して、一連の構築・設定などの作業を行います。
Movement	各機器に対する構築ツールを使った構築、設定などの作業の単位です。

Exastro ITAについてのより詳しい説明は[ドキュメントサイト](#)をご活用ください。

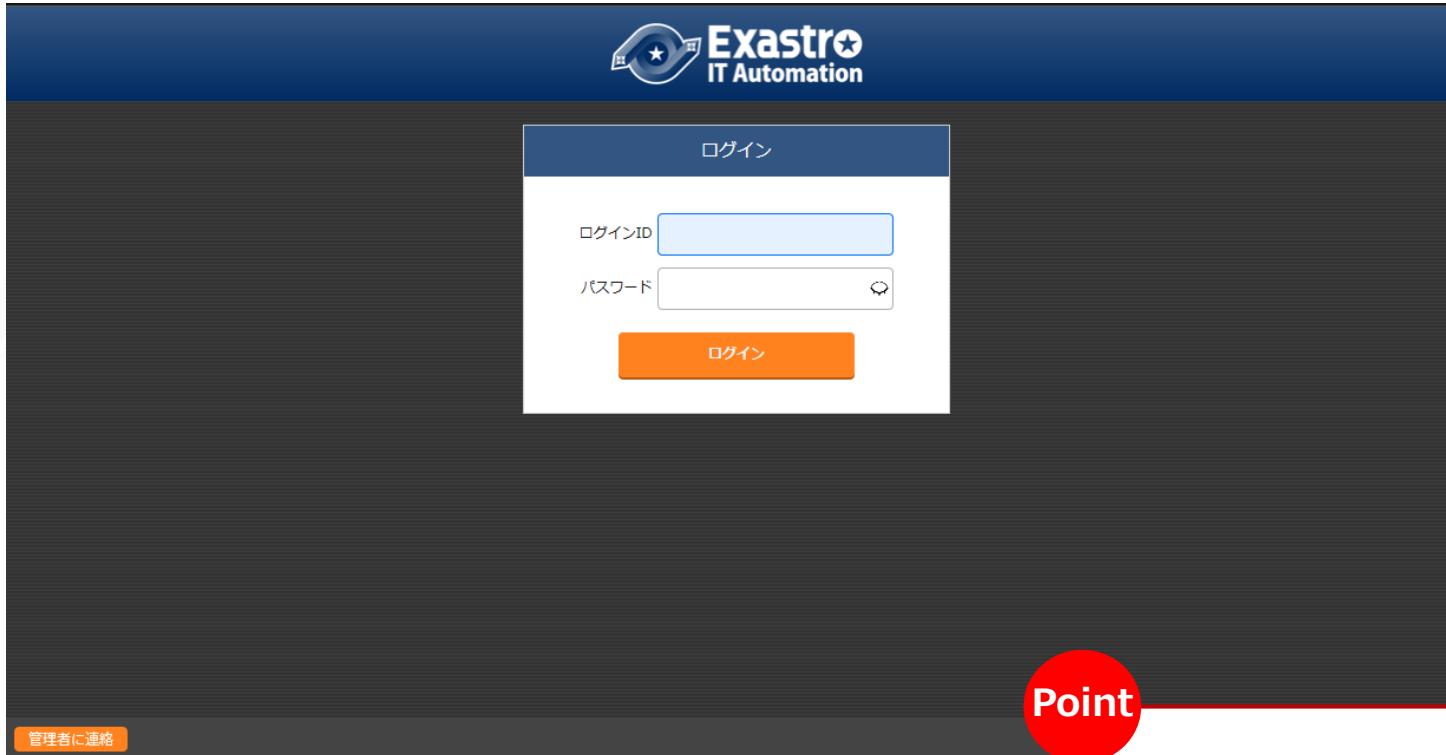
2. 画面説明



2.1 Webコンソール画面（ログイン）

Webコンソールログイン

- ITAのインストールが完了しURLへアクセスすると、ログイン画面が表示されます。
※インストール手順については”[IT Automation オンラインインストール](#)”をご参照ください。



Point

初回ログイン時は、ログイン直後に
パスワード変更を求められます。

2.2 画面説明(メインメニュー)

画面説明（メインメニュー）

- 基本的な名称は以下の通りです。

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]

ロール パスワード変更 ログアウト

編集

☰ Menu

DASHBOARD

メニュー

メニュー グループ

管理コンソール 基本コンソール エクスポート/… Symphony Conductor メニュー作成

比較 ホストグレ… Ansible共通 Ansible-Legacy Ansible-Pioneer Ansible-Lega…

Terraform CI/CD for IaC

Movement

Movement Total

Movement	SUM
Ansible Legacy	0 0 0
Ansible Pioneer	0 0 0
Ansible Legacy Role	0 0 0
Terraform	0 0 0

作業状況

Status Total

Status	CON	SYM	SUM
実行中	0	0	0
未実行(予約)	0	0	0
未実行	0	0	0

作業結果

Result Total

Result	CON	SYM	SUM
正常終了	0	0	0
異常終了	0	0	0
想定外エラー	0	0	0
緊急停止	0	0	0
予約取消	0	0	0

管理者に連絡

メニュー

メニュー グループ

2.3 画面説明(各メニュー) (1/2)

画面説明 (各メニュー)

- 基本的な名称は以下の通りです。

■ サブメニューの概略

■ 説明 : 表示中メニューの説明

■ 表示フィルタ : 登録情報の検索機能

■ 一覧/更新 : 登録情報の表示

Exastro IT Automation Ansible-Legacy

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]

ロール パスワード変更 ログアウト

Menu

メインメニュー

Movement一覧

Playbook素材集

Movement-Playbook紐付

代入値自動登録設定

作業対象ホスト

代入値管理

作業実行

作業状態確認

作業管理

管理者に連絡

説明

表示フィルタ

廃止 MovementID Movement名 オーケストレータ 遅延タイマー

廃止含まず ~ ブルダウンド検索 ブルダウンド検索 ブルダウンド検索

▼開く △閉じる

△開く

△閉じる

一覧/更新

履歴 備考 更新 廃止 MovementID Movement名 オーケストレータ 遅延タイマー

Ansible利用情報

ホスト指定形式 WinRM接続 virtualenv ヘッダーセクション オプション

最終更新日時 最終更新者

履歴 備考 更新 廃止 2 パッケージインストール Ansible Legacy IP 2021/12/16 11:51:37 システム管理者

ファイル結果件数: 1

Excel出力

登録

全件ダウンロードとファイルアップロード編集

2.3 画面説明(各メニュー) (2/2)

画面説明 (各メニュー)

- 基本的な名称は以下の通りです。

The screenshot shows the 'Movement' registration page. A red box highlights the sub-menu options under '登録' (Registration): '説明' (Description), '表示・フィルタ' (Display Filter), '一覧/更新' (List/Update), '登録' (Registration), '全件ダウンロードとファイルアップロード編集' (Full Download and File Upload Edit), and '変更履歴' (Change History). A red arrow points from the text 'サブメニュー' (Submenu) to the highlighted area.

■ サブメニューの概略

登録 : Webからのレコード登録

全件ダウンロードとファイルアップロード編集

: Excelのダウンロード/アップロードからの編集
Excelでの変更履歴全件をダウンロード

変更履歴 : 登録レコードの変更履歴

3. 実行前準備



3.1 Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け (1/5)

Playbookの準備

- 最初に今回利用するPlaybookの作成をします。

お好みのエディタを使用してymlを作成し自身のローカルフォルダに保存してください。

yum_package_install.yml

```
- name: install the latest version of packages
  yum:
    name: "{{ item }}"
    state: latest
  with_items:
    - "{{ VAR_packages }}"
```

Playbookをアップロードして
ジョブ(Movement)に紐付け

ジョブ(Movement)を
ジョブフロー(Conductor)に組込み

CMDBにパラメータシートを設定

パラメータシートの項目と
Playbookの変数の紐付け

機器一覧にターゲットとなる
Linuxマシンを登録

Point

文字コードは“UTF-8 BOMなし”、改行コードは“LF”、
拡張子は“yml”形式。また、インデントにご注意ください。

*** yum_package_install.yml X

```
1   name: install the latest version of packages
2     yum:
3       name: "{{ item }}"
4       state: latest
5     with_items:
6       - "{{ VAR_packages }}"
7
```

3.1 Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け (2/5)

「Movement一覧」へ新規Movementを登録

- 次にMovementの登録を行っていきます。

メインメニューより、「Ansible-Legacy」メニューグループ >> 「Movement一覧」メニューをクリックします。

The screenshot shows the Ansible-Legacy dashboard with the 'Movement' section highlighted. A sidebar on the right lists five steps for Movement registration:

- Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け
- ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み
- CMDBにパラメータシートを設定
- パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け
- 機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

Numbered circles 1 and 2 point to specific icons in the sidebar: circle 1 points to the first step, and circle 2 points to the second step.

3.1 Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け (3/5)

「Movement一覧」へ新規Movementを登録

- 「登録開始」ボタンをクリック。
各項目へ下表のように入力し、登録をクリックしてください。

Exastro IT Automation Ansible-Legacy

説明

表示フィルタ

停止	MovementID	Movement名	オーケストレータ	遅延タイマー	ホスト指定形式	最終更新日時	最終更新者
廃止含まず	~		▼フルダラン検索	▼フルダラン検索	▼フルダラン検索	~	▼フルダラン検索

△開く △閉じる

検索

一覧/更新

登録

登録開始

3

Playbookをアップロードして
ジョブ(Movement)に紐付け

ジョブ(Movement)を
ジョブフロー(Conductor)に組込み

CMDBにパラメータシートを設定

パラメータシートの項目と
Playbookの変数の紐付け

機器一覧にターゲットとなる
Linuxマシンを登録

Point

4

5

詳しいログ確認を行うために
オプションパラメータを-vvvにして
ログレベル上げます。

詳しい情報は[マニュアル](#)を参照してください。

3.1 Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け (4/5)

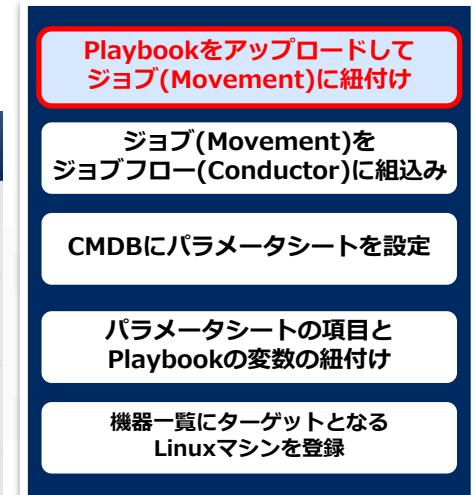
「Playbook素材集」へ新規Playbookを登録

- 次に作成したPlaybookの登録を行います。

「Ansible-Legacy」メニューグループ >> 「Playbook素材集」メニューをクリック。

登録開始をクリックし、各項目へ下表のように入力し登録を
クリックしてください。

The screenshot shows the 'Ansible-Legacy' interface with the 'Playbook素材集' menu selected. A red box highlights the 'Playbook素材集' button in the left sidebar. A red circle labeled '1' points to the 'Playbook素材名' field in the registration form, which contains 'yum_package_install'. Another red circle labeled '2' points to the 'Playbook素材' field, which contains 'yum_package_install.yml'. A red circle labeled '3' points to the '登録' (Register) button at the bottom of the form. Below the form, a sub-form for file upload is shown with a red box around it. A red circle labeled 'Point' points to this sub-form with the following text: 'Playbookをアップロードする場合 ファイル指定後は必ず 「事前アップロード」ボタンをクリックしてください。' (When uploading a Playbook, after specifying the file, please click the 'Pre-upload' button). The top right corner of the interface has a red box containing the text: 'Playbookをアップロードして ジョブ(Movement)に紐付け'.



3.1 Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け (5/5)

「Movement-Playbook紐付」への登録

- 次に登録したPlaybookをMovementに紐付けます。

「Ansible-Legacy」メニューグループ >> 「Movement-Playbook紐付」メニューをクリック。各項目へ下表のように入力、選択し登録をクリックしてください。

The screenshot shows the Ansible-Legacy interface with the 'Movement-Playbook紐付' menu item highlighted by a red box and circled with a red number 1.

Movement	Playbook素材	インクルード順序
パッケージインストール	yum_package_install	1

The screenshot shows the '登録' (Register) dialog box for Movement-Playbook binding. The 'Movement' dropdown is set to '2:パッケージインストール', the 'Playbook素材' dropdown is set to 'yum_package_install', and the 'インクルード順序' input field is set to '1'. A red box highlights the registration form, and a red circle with number 3 points to the '登録' (Register) button.

Point

Movement 1つに対し複数のPlaybookを登録する場合、インクルード順序を指定
1 : 1 の場合は1を入力してください。

Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け

ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み

CMDBにパラメータシートを設定

パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け

機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

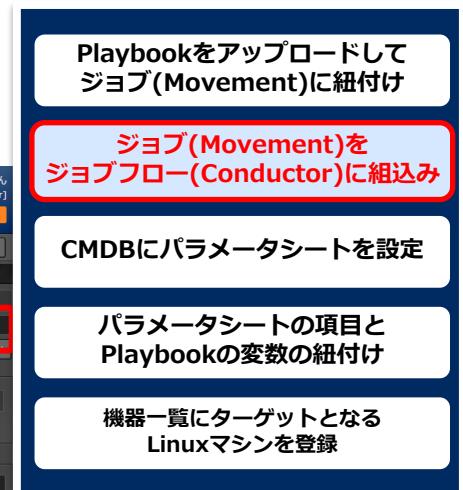
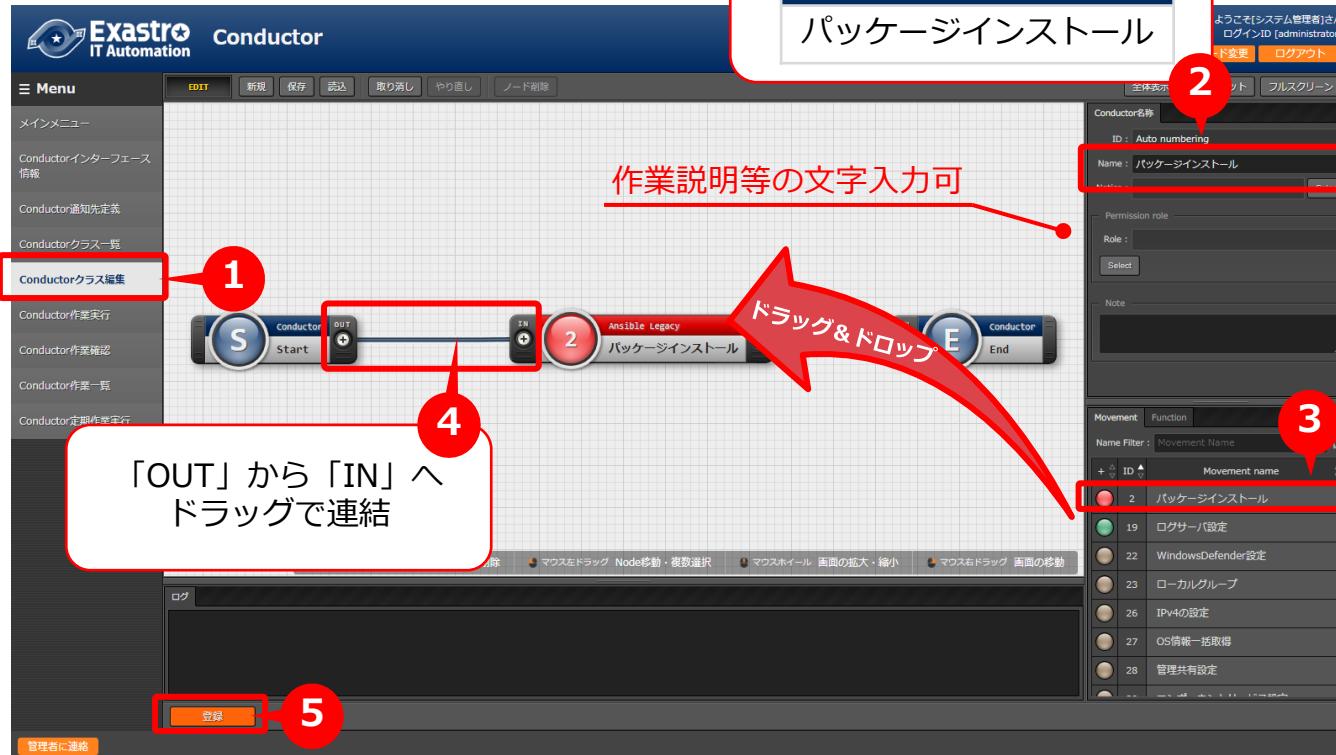
3.2 ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み

「Conductor」を作成する

- 次にMovementをConductorに組み込んでいきます。

「Conductor」メニューグループ >> 「Conductorクラス編集」メニューをクリック。

下記の順番の通り入力、移動、連結させ登録をクリックしてください。



3.3 CMDBにパラメータシートを設定(1/3)

パラメータシートを作成する

- 次にパラメータシートの作成を行います。

「メニュー作成」 メニューグループ >> 「メニュー定義・作成」 メニューをクリック。

各項目へ下表のように入力、選択して下さい。(次ページへ続く)

2 グループをクリック

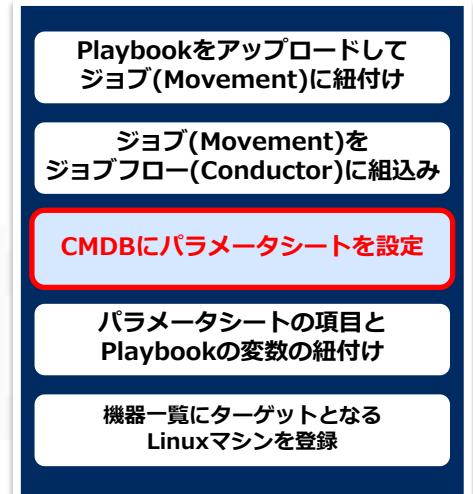
3 グループ名

1

No	ホスト名	オペレーション名
1	192.168.0.1	オペレーション
2	192.168.0.1	オペレーション

作成

管理者に連絡



3.3 CMDBにパラメータシートを設定(2/3)

■ パラメータシートを作成する

- 項目を追加し、各項目へ下表のように入力、選択して下さい。(次ページへ続く)

項目が5個になるようにクリック

項目名	入力方式	選択項目
httpd	プルダウン選択	メニュー作成:選択1:*(-(ブランク))
mariadb-server	プルダウン選択	メニュー作成:選択1:*(-(ブランク))
php	プルダウン選択	メニュー作成:選択1:*(-(ブランク))
perl	プルダウン選択	メニュー作成:選択1:*(-(ブランク))
python	プルダウン選択	メニュー作成:選択1:*(-(ブランク))

Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け

ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組み込

CMDBにパラメータシートを設定

パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け

機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

3.3 CMDBにパラメータシートを設定(3/3)

■ パラメータシートを作成する

- 項目の移動が完了できたら作成をクリックして下さい。

The screenshot shows the Exastro IT Automation interface for creating a menu. On the left, there's a sidebar with 'Menu' and 'メニュー定義・作成' sections. The main area has tabs for 'メニュー作成' (highlighted), 'グループ', and 'リピート'. A red box labeled '6' highlights the 'カラムグループ' (Column Group) section where items like 'httpd', 'mariadb-server', 'php', 'perl', and 'python' are listed. Red arrows point from this section to a preview window below. Another red box labeled '7' points to the preview window, which shows a table titled '一覧(プレビュー)' (Preview List) with two entries: 'No.' and 'ホスト名' (Host Name). The first entry is '1 192.168.0'. A red box labeled '8' points to the '作成' (Create) button at the bottom of the preview window.

Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け

ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み

CMDBにパラメータシートを設定

パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け

機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

3.4 パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け(1/3)

「代入値自動登録設定」作成

- 最後に代入値自動登録を行います。

「Ansible-Legacy」メニューグループ >> 「代入値自動登録設定」メニューをクリック。
各項目へ下表のように入力、選択して下さい。(次ページへ続く)

1

2

項目番号	項目	登録方式	Movement	Key変数 変数名	代入順序
2100011611:代入値自動登録用:3:インストールパッケージ一覧	パラメータ/インストールパッケージ/httpd	Key型	1:パッケージインストール	1:VAR_packages	1
2100011611:代入値自動登録用:3:インストールパッケージ一覧	パラメータ/インストールパッケージ/mariadb-server	Key型	1:パッケージインストール	1:VAR_packages	2
2100011611:代入値自動登録用:3:インストールパッケージ一覧	パラメータ/インストールパッケージ/php	Key型	1:パッケージインストール	1:VAR_packages	3
2100011611:代入値自動登録用:3:インストールパッケージ一覧	パラメータ/インストールパッケージ/perl	Key型	1:パッケージインストール	1:VAR_packages	4
2100011611:代入値自動登録用:3:インストールパッケージ一覧	パラメータ/インストールパッケージ/python	Key型	1:パッケージインストール	1:VAR_packages	5

Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け

ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み

CMDBにパラメータシートを設定

パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け

機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

3.4 パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け(2/3)

「代入値自動登録設定」作成

- 各項目へ入力、選択が完了したら登録をクリックして下さい。

The screenshot shows the 'Ansible-Legacy' interface with the 'Movement' registration screen. A red box highlights the main table where a 'Key型' entry is being made. A red circle with the number '2' points to the '登録' (Register) button at the bottom of the table.

Playbookをアップロードして
ジョブ(Movement)に紐付け

ジョブ(Movement)を
ジョブフロー(Conductor)に組込み

CMDBにパラメータシートを設定

パラメータシートの項目と
Playbookの変数の紐付け

機器一覧にターゲットとなる
Linuxマシンを登録

Point

変数紐づけの登録方式は以下の3タイプがあります。

登録方式	今回使用	説明
Value型		基本的なタイプであり、表の中の値を変数に紐づけるものです。
Key型	●	表の項目(列名)を変数に紐づけるものです。項目の設定値が空白の場合は紐づけ対象外になります。
Key-Value型		項目の名称(Key)と設定値(Value)の両方を変数に紐づけることができます。

今回のシナリオでは、表の項目(列名)をPlaybookに具体値として代入したいので、登録方式は「Key型」を選択します。詳細はこちら[システム構築・運用の効率化ガイドブック](#)を参照してください。

3.4 パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け(3/3)

「代入値自動登録設定」作成

- 表示フィルタで5件のデータが登録できているかの確認を行って下さい。
ここまでで実行準備は終了になります。

Exastro IT Automation Ansible-Legacy

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]

ロール パスワード変更 ログアウト

説明

表示フィルタ △閉じる

廃止 項番 パラメータシート (From)

メニュー グループ メニュー

ID 名称 ID 名称

最終更新日時 最終更新者

廃止含まず ~

▼ ブラウズ検索 ▼ ブラウズ検索 ▼ ブラウズ検索 ▼ ブラウズ検索

△開く

5件のデータが登録できているかを確認

△閉じる

履歴 備考 更新 廃止 項番 パラメータシート (From)

ID 名称 ID 名称

登録方 最終更新日時 最終更新者

履歴 検索 更新 廃止 9:100011611 代入値自動登録用 205 インストールパッケージ_既 パラメータ/インストールパッケージ/httpd Key型 2021/12/16 12:08:11 システム管理者

履歴 検索 更新 廃止 10:100011611 代入値自動登録用 205 インストールパッケージ_既 パラメータ/インストールパッケージ/mariadb-server Key型 2021/12/16 12:56:58 システム管理者

履歴 検索 更新 廃止 11:100011611 代入値自動登録用 205 インストールパッケージ_既 パラメータ/インストールパッケージ/php Key型 2021/12/16 12:57:19 システム管理者

履歴 検索 更新 廃止 12:100011611 代入値自動登録用 205 インストールパッケージ_既 パラメータ/インストールパッケージ/perl Key型 2021/12/16 12:57:39 システム管理者

履歴 検索 更新 廃止 13:100011611 代入値自動登録用 205 インストールパッケージ_既 パラメータ/インストールパッケージ/python Key型 2021/12/16 12:57:54 システム管理者

△閉じる

ファイル結果件数: 5

Excel出力

△開く

登録

Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け

ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み

CMDBにパラメータシートを設定

パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け

機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

4. 実行操作(1回目)



4.1 機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録(1/3)

「機器一覧」へ新規ターゲットホストの登録

- 最初に機器一覧へ今回パッケージをインストールするターゲットホストを登録します。
「基本コンソール」メニューグループ >> 「機器一覧」メニューをクリック。
各項目へ下表のように入力して下さい。(次ページへ続く)

Exastro IT Automation 基本コンソール

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]

メニュー

機器一覧

1

説明

登録

2

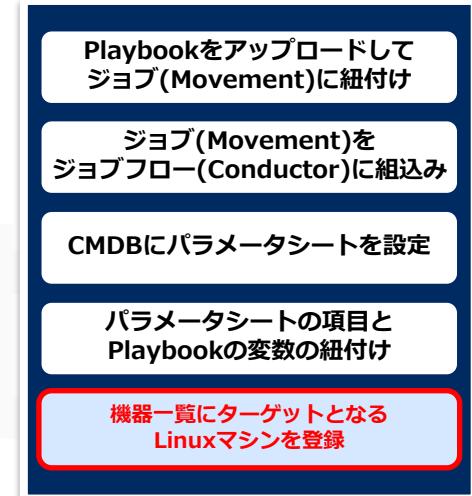
管理システム項目番号	HW機器種別	ホスト名*	IPアドレス*	EtherWakeOnLan	MACアドレス	ネットワークデバイス名	ログインユーザーID	最終更新日時	最終更新者
自動入力	SV	hostA	192.168.1.1					自動入力	自動入力

* *は必須項目です。

戻る 登録

管理者に連絡

HW機器種別	ホスト名	IPアドレス
SV	(任意のホスト名)	(任意のIPアドレス)



4.1 機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録(2/3)

「機器一覧」へ新規ターゲットホストの登録

- スクロールバーを右にスライドし各項目へ下表のように入力して下さい。(次ページへ続く)

Exastro IT Automation 基本コンソール

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]

ロール パスワード変更 ログアウト

☰ Menu

メインメニュー
機器一覧
オペレーション一覧
Movement一覧
ER図表示

説明
表示フィルタ
一覧/更新
登録

△閉じる

ログインパスワード ssh鍵認証情報

管理システム項目番号 ログインユーザID 管理 ログインパスワード ssh鍵認証情報 パスフレーズ 最終更新日時 最終更新者

自動入力 root ● ファイルを選択 選択されていません 事前アップロード

アップロード状況:

※*は必須項目です。

戻る 登録

ログインユーザID ログインパスワード管理 ログインパスワード

(任意のログインユーザID) ● (任意のパスワード)

管理者に連絡

- Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け
- ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み
- CMDBにパラメータシートを設定
- パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け
- 機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

4.1 機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録(3/3)

「機器一覧」へ新規ターゲットホストの登録

- 最後の項目へ下表のように選択し登録をクリックして下さい。

Exastro IT Automation 基本コンソール

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]

メニュー

機器一覧

オペレーション一覧

Movement一覧

ER図表示

3

4

Legacy/Role利用情報

認証方式

パスワード認証

Ansible利用情報

Legacy/Role利用情報

WinRM接続情報

ポート番号 サーバー証明書

最終更新日時 最終更新者

自動入力 パスワード認証 ファイルを選択 選択されていません

事前アップロード

アップロード状況:

戻る 登録

全件ダウンロードとファイルアップロード編集

変更履歴

管理者に連絡

Playbookをアップロードしてジョブ(Movement)に紐付け

ジョブ(Movement)をジョブフロー(Conductor)に組込み

CMDBにパラメータシートを設定

パラメータシートの項目とPlaybookの変数の紐付け

機器一覧にターゲットとなるLinuxマシンを登録

Point

Ansible-Legacyを実行するための必須入力項目は以下の6項目です。
[ホスト名][IPアドレス][ログインユーザID]
[ログインパスワード管理][ログインパスワード]
[認証方式※]

※本書は「パスワード認証」で記載します。

4.2 作業名(Operation)の登録

「オペレーション一覧」へ新規オペレーション名を登録

- 次にオペレーション名を登録していきます。
「基本コンソール」メニューグループ >> 「オペレーション一覧」メニューをクリック。
各項目へ入力、選択が完了したら登録をクリックして下さい。

The screenshot shows the 'Basic Console' interface of Exastro IT Automation. On the left, there's a sidebar with 'Menu' sections like 'Main Menu', 'Equipment List', and 'Operation List' (which is highlighted with a red box and circled with a red number 1). The main area has two tabs: 'List/Update' (top) and 'Registration' (bottom). In the 'Registration' tab, there's a form with fields: 'Operation ID' (auto input), 'Operation Name' (必填), 'Implementation Date' (auto input), and 'Access Right' (set to 'Normal'). A modal window titled 'Operation Registration' is open, showing the input fields: 'Operation Name' (オペレーション1) and 'Implementation Date' (任意の実行予定日時). The 'Registration' button in the modal is circled with a red box and labeled with a red number 3.

Exastro IT Automation 基本コンソール

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]

ロール パスワード変更 ログアウト

三 Menu

メインメニュー

機器一覧

オペレーション一覧 1

Movement一覧

ER図表示

説明

表示フィルタ

廃止

No.

オペレーションID

オペレーション名

実施

最終更新日時

最終更新者

廃止します ~

ブルダウント検索

ブルダウント検索

ブルダウント検索

ブルダウント検索

フィルタ

フィルタクリア

オートフィルタ

一覧/更新 2

登録

No. オペレーションID オペレーション名 実施予定日時 アクセス権 設定 アクション

自動入力 自動入力 オペレーション1 2021/12/17 11:20 設定

※*は必須項目です。

戻る 登録 3

オペレーション名 実施予定日時

オペレーション1 (任意の実行予定日時)

全件ダウンロードとファイルアップロード編集

変更履歴

作業名(Operation)の登録

パラメータシートにデータを登録

ジョブフロー(Conductor)の実行

実行結果の確認

4.3 パラメータシートにデータを登録(1/2)

「インストールパッケージ一覧」へ新規データを登録

- 次に実行前準備で用意したインストールパッケージ一覧(パラメータシート)にデータを入力していきます。

「入力用」メニューグループ >> 「インストールパッケージ一覧」メニューをクリック。
各項目へ入力、選択が完了したら登録をクリックして下さい。

Exastro IT Automation 入力用

説明

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]

ロール パスワード変更 ログアウト

Menu

メインメニュー

インストールパッケージ一覧

1

説明

登録

オペレーション

パラメータ

最終更新日 最終更新者

No ホスト名 オペレーション インストールパッケージ

No	ホスト名*	オペレーション*	httpd	mariadb-server	php	perl	python
自動入力	hostA	2021/12/16 12:35_21:オペレーション1	*	*	*	*	*

* *は必須項目です。

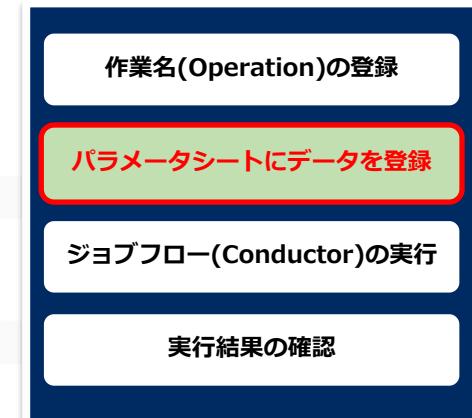
戻る 登録 3

2

ホスト名 オペレーション httpd mariadb-server php perl python

(機器登録で登録したホスト名)	(選択した実行予定日時)_1: オペレーション1	*		*	*	*
-----------------	-----------------------------	---	--	---	---	---

管理者に連絡



4.3 パラメータシートにデータを登録(2/2)

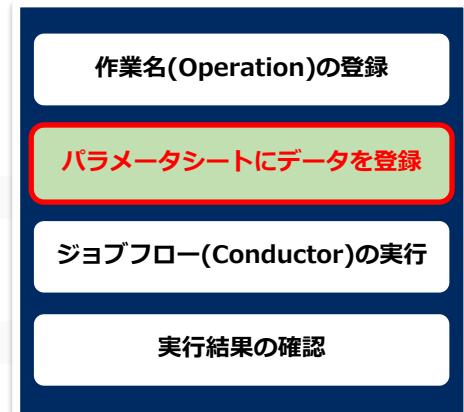
「インストールパッケージ一覧」への登録

- 実行前準備の代入値自動登録設定の時と同様、表示フィルタを開き「フィルタ」ボタンをクリックして登録したデータを確認してください。

The screenshot shows the Exastro IT Automation interface with the following steps highlighted:

- ① A red box highlights the 'Filter' dialog box, which is overlaid on the main window. It contains search fields for Host Name, ID, Operation Name, and other parameters.
- ② A red box highlights the 'Filter' button in the bottom left of the dialog box.
- ③ A red box highlights the main data grid where the registered data is displayed. The data includes an ID of 1, an operation name of 'オペレーション 1', and various parameters like host, port, and package names.

The main window has tabs for 'Menu', 'Main Menu', 'Install Package List', and 'Input Use'. It also features a top navigation bar with user information and session controls.



4.4 ジョブフロー(Conductor)の実行(1/3)

Conductorの実行

- いよいよ実行を行っていきます。
「Conductor」メニューグループ>>「Conductor作業実行」メニューをクリック。
実行する「Conductor」と「オペレーション」を選択し実行をクリックして下さい。

The screenshot shows the Exastro IT Automation Conductor interface with the following steps:

- Step 1:** The left sidebar menu is shown, with the "Conductor作業実行" (Conductor Job Execution) item highlighted by a red circle.
- Step 2:** The "Conductor[一覧]" (Conductor List) screen is displayed. A red box highlights the table where a row for "1 パッケージインストール" (1 Package Installation) is selected. A red circle with the number 2 is placed above the table.
- Step 3:** The "オペレーション[一覧]" (Operation List) screen is shown. A red box highlights the table where a row for "21 オペレーション 1" (21 Operation 1) is selected. A red circle with the number 3 is placed above the table.
- Step 4:** The "Conductor実行" (Conductor Execution) screen is displayed. It shows a workflow diagram with three nodes: "Start" (S), "2 パッケージインストール" (2 Package Installation), and "End" (E). A red box highlights the "EXECUTE" button at the bottom. A red circle with the number 4 is placed below the button.

On the right side of the interface, there is a vertical sidebar with the following sections:

- 作業名(Operation)の登録
- パラメータシートにデータを登録
- ジョブフロー(Conductor)の実行 (highlighted in green)
- 実行結果の確認

4.4 ジョブフロー(Conductor)の実行(2/3)

実行結果確認

- 実行すると「Conductor作業確認」メニュー画面に切替わり、実行ステータスやログが表示されます。

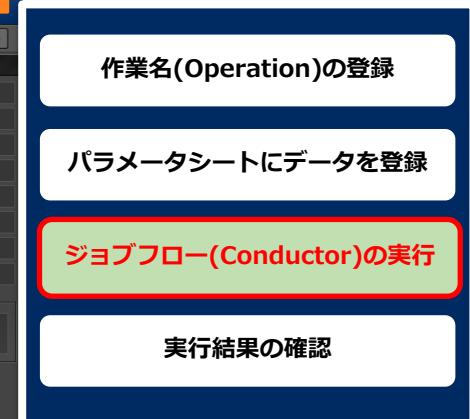
The screenshot shows the Exastro Conductor application interface. On the left is a navigation menu with options like 'Menu', 'Conductor', 'Operation', 'Log', and 'Help'. The main area displays a job flow diagram with three nodes: 'Start' (Conductor), 'Ansible Legacy' (パッケージインストール), and 'End' (Conductor). The 'Ansible Legacy' node is highlighted with a green 'DONE' status. To the right of the diagram is a detailed execution log:

Conductor name :	パッケージインストール
Status :	正常終了
Start time :	2021/12/17 11:47:15
End time :	2021/12/17 11:49:04
Execution user :	システム管理者
Reservation date :	
Emergency stop :	

Below this is another section for 'Operation' with details:

Operation ID :	21
Operation name :	オペレーション1

At the bottom left is a 'Log' panel which is currently empty. At the bottom right are buttons for 'マウス左クリック Node選択・作業状態確認' (Mouse left click to select node and check operation status), 'マウスホイール 面画面の拡大・縮小' (Mouse wheel to zoom in/out), and 'マウス右ドラッグ 面画面の移動' (Mouse right drag to move screen).



Point

実行ステータスやログを
リアルタイムで
確認可能です。

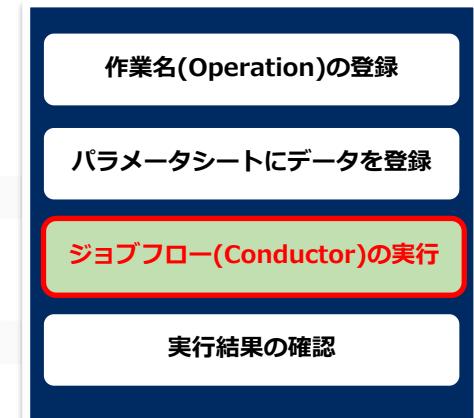
4.4 ジョブフロー(Conductor)の実行(3/3)

実行結果確認

- ジョブ(Movement)を選択し、Doneのアイコンまたは右側のOperation statusをクリックすると詳細が表示されます。

The screenshot shows the Exastro Conductor interface. On the left, there's a navigation menu with items like 'Menu', 'Main Menu', 'Conductor Interface Information', 'Conductor Job Definition', 'Conductor Cluster Selection', 'Conductor Class Selection', 'Conductor Job Execution', 'Conductor Job Confirmation', 'Conductor Job Log', and 'Emergency Stop'. The main area displays a workflow diagram with nodes: 'Start' (Conductor), 'Ansible Legacy' (Movement), and 'End' (Conductor). The 'Ansible Legacy' node has a green 'DONE' button and the text 'パッケージインストール'. A red box highlights this node, and a red circle with the number '1' and the text '選択' (Select) points to it. To the right, a detailed view of the 'Ansible Legacy' node is shown in a modal window. The window title is 'Exastro Ansible-Legacy'. It contains tabs for '説明' (Description) and '対象作業' (Target Job). The '対象作業' tab displays a table with job details:

項目	値
序番No.	113
実行種別	通常
ステータス	完了
実行エンジン	Ansible Engine
呼び出し元Ansible	パッケージインストール
呼び出し元Conductor	システム管理者
実行ユーザ	
Movement	
ID	2
名前	パッケージインストール
運営タイム(分)	
Ansible利用情報	
ホスト指定形式	IP
No.	21
オペレーション	オペレーション1
ID	21
作業対象ホスト	
代入値	
入力データ	InputData_00000000111.rdo
出力データ	OutputData_00000000111.rdo
予約日時	
作業状況	
開始日時	2021/12/17 11:47:18
終了日時	2021/12/17 11:48:57



4.5 実行結果の確認(1/3)

実行ログの確認

- 詳細画面の進行状況(実行ログ)でAnsibleの実行ログを確認していきます。

The screenshot shows the Ansible execution log details. A red box highlights the 'Execution Log (実行ログ)' window.

Execution Log (実行ログ)

File filter: [] Show only matching lines

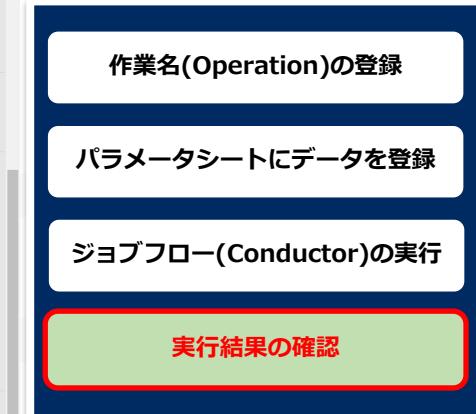
```
Upgrading : python-2.7.5-90.el7.x86_64          2/4
Cleanup   : python-2.7.5-90.el7.x86_64          3/4
Cleanup   : python-11bs-2.7.5-68.el7.x86_64      4/4
Verifying  : python-2.7.5-90.el7.x86_64          1/4
Verifying  : python-11bs-2.7.5-68.el7.x86_64      2/4
Verifying  : python-11bs-2.7.5-68.el7.x86_64      3/4
Verifying  : python-2.7.5-90.el7.x86_64          4/4

Updated:
python.x86_64 0:2.7.5-90.el7

Dependency Updated:
python-libs.x86_64 0:2.7.5-90.el7

Complete!
[]

PLAY RECAP ****
ita-test-target01 : ok=1    changed=1    unreachable=0    failed=0    skipped=0    rescued=0    ignored=0
```



4.5 実行結果の確認(2/3)

実行ログの確認

- httpd,php,perl,pythonをインストールされているか実行ログから確認して下さい。

進行状況(実行ログ)の一部

```
~~~~~省略~~~~~  
Installed:  
    httpd.x86_64 0:2.4.6-97.el7.centos  
Dependency Installed:  
    httpd-tools.x86_64 0:2.4.6-97.el7.centos mailcap.noarch 0:2.1.41-2.el7  
Complete!  
"}}  
~~~~~省略~~~~~  
Installed:  
    php.x86_64 0:5.4.16-48.el7  
Dependency Installed:  
    libzip.x86_64 0:0.10.1-8.el7 php-cli.x86_64 0:5.4.16-48.el7 php-common.x86_64 0:5.4.16-  
48.el7  
Complete!  
"}}  
~~~~~省略~~~~~  
Updated:  
    perl.x86_64 4:5.16.3-299.el7_9  
Dependency Updated:  
    perl-libs.x86_64 4:5.16.3-299.el7_9  
Complete!  
"}}  
~~~~~省略~~~~~  
Updated:  
    python.x86_64 0:2.7.5-90.el7  
Dependency Updated:  
    python-libs.x86_64 0:2.7.5-90.el7  
Complete!  
"}}
```

作業名(Operation)の登録

パラメータシートにデータを登録

ジョブフロー(Conductor)の実行

実行結果の確認

4.5 実行結果の確認(3/3)

ターゲットマシンの確認

- ターゲットマシンでもパッケージがインストールできていることを確認して下さい。

hostA

```
$ yum list installed httpd
Loaded plugins: fastestmirror, langpacks
Loading mirror speeds from cached hostfile
* base: ftp-srv2.kddilabs.jp
* extras: ftp-srv2.kddilabs.jp
* updates: ftp-srv2.kddilabs.jp
Installed Packages
httpd.x86_64          2.4.6-97.el7.centos      @updates
```

作業名(Operation)の登録

パラメータシートにデータを登録

ジョブフロー(Conductor)の実行

実行結果の確認

5. 実行操作(2回目)



5.1 作業名(Operation)の登録

「オペレーション一覧」へ新規オペレーション名を登録

- ここからは1回目のオペレーション名登録以降の作業と同様になります。
「基本コンソール」メニューグループ >> 「オペレーション一覧」メニューをクリック。
各項目へ入力、選択が完了したら登録をクリックして下さい。

The screenshot shows the Exastro IT Automation basic console interface. On the left, there is a sidebar with a logo, the system name 'Exastro IT Automation', and a 'Menu' section containing 'メインメニュー', '機器一覧', and 'オペレーション一覧' (which is highlighted with a red box and circled with a red number 1). The main area has tabs for '説明' and '表示フィルタ'. Below these are two stacked windows:

- Top Window (Filter):** Shows a table with columns: 説明 (Description), No., オペレーションID (Operation ID), オペレーション (Operation), 最終更新日時 (Last Update Date), and 最終更新者 (Last Updated By). It includes search filters for each column and buttons for 'フィルタ' (Filter) and 'フィルタクリア' (Clear Filter).
- Bottom Window (Registration):** Shows a table with columns: No., オペレーションID (Operation ID), オペレーション名* (Operation Name), 実施予定日時 (Planned Date), and other fields like ユーザ権 (User Rights) and ロール (Role). A red box highlights the 'オペレーション名*' field, which contains 'オペレーション2'. A red circle with the number 2 points to the '設定' (Setting) button next to the '実施予定日時' field. A red box highlights the '登録' (Register) button at the bottom.

A callout box on the right side of the screen, also with a red border, contains the following steps:

- 作業名(Operation)の登録
- パラメータシートにデータを登録
- ジョブフロー(Conductor)の実行
- 実行結果の確認

5.2 パラメータシートにデータを登録

「インストールパッケージ一覧」新規データを登録

- 「入力用」メニュー グループ >> 「インストールパッケージ一覧」メニューをクリック。各項目へ入力、選択が完了したら登録をクリックして下さい。
1回目とインストールするパッケージが異なっているので注意して下さい。

The screenshot shows the Exastro IT Automation web interface. The top navigation bar includes the Exastro logo, a search bar, and links for 'Role', 'Password Change', and 'Logout'. A red box highlights the 'Operation' link in the top right corner.

The main content area has a sidebar with 'Menu' and 'Main Menu' options, and a red box highlights the 'Install Package Box' option under 'Install & Update'.

A central form is displayed for registering an operation. It has sections for 'Operation' and 'Parameter'. The 'Operation' section contains fields for 'Host Name' (hostA), 'Operation' (2021/12/16 13:25_2: Operation 2), and 'Parameter' (httpd, mariadb-server, php, perl, python). The 'Parameter' section also includes 'Last Updated Date' and 'Last Updated By' fields, both set to 'Automatic Input'. A note at the bottom says '※*は必須項目です' (asterisks are required fields).

At the bottom of the form are two orange buttons: 'Cancel' and 'Register'. The 'Register' button is highlighted with a red box and circled with a red number '3'.

Below the form is a table titled 'Full Download and File Upload Collection' with columns for 'Host Name', 'Operation', 'httpd', 'mariadb-server', 'php', 'perl', and 'python'. The 'Host Name' column shows '(Machine registration registered host name)' and the 'Operation' column shows '(Selected execution scheduled date)_2: Operation 2'.

On the far left, a red circle with the number '2' is connected by a red line to the 'Register' button. A red box also surrounds the 'Register' button.

5.3 ジョブフロー(Conductor)の実行(1/3)

Conductorの実行

- 2回目の実行も行っていきます。

「Conductor」メニューグループ>>「Conductor作業実行」メニューをクリック。
実行する「Conductor」と「オペレーション」を選択し実行をクリックして下さい。

The screenshot shows the Exastro IT Automation Conductor interface. On the left, a sidebar menu lists various options, with 'Conductor作業実行' (1) highlighted by a red box. The main content area has two tabs: 'Conductor[一覧]' (2) and 'オペレーション[一覧]' (3). Both tabs have their own filter tables. A large red box highlights the first table in the 'Conductor[一覧]' tab, which contains one row of data:

選択	ConductorクラスID	Conductor名称	説明	アクセス権	備考	最終更新日時	最終更新者
<input checked="" type="radio"/>	1	パッケージインストール		アクセス許可ロール		2021/12/17 11:34:47	システム管理者

Below this table, it says 'フィルタ結果件数: 1'. The second table in the 'オペレーション[一覧]' tab also has one row of data:

選択	No.	オペレーションID	オペレーション名	実施予定日時	最終実行日時	アクセス権	最終更新日時
<input checked="" type="radio"/>	21	21	オペレーション1	2021/12/16 12:35	2021/12/17 14:32	アクセス許可ロール	2021/12/17 14:33
<input checked="" type="radio"/>	22	22	オペレーション2	2021/12/16 13:25	2021/12/17 14:44	アクセス許可ロール	2021/12/17 14:44

Below this table, it says 'フィルタ結果件数: 2'. At the bottom right of the main interface, there is a large red box containing the number '4' over a button labeled '実行' (Execute).

On the right side of the interface, there is a vertical sidebar with several sections:

- 作業名(Operation)の登録
- パラメータシートにデータを登録
- ジョブフロー(Conductor)の実行 (highlighted with a red box)
- 実行結果の確認

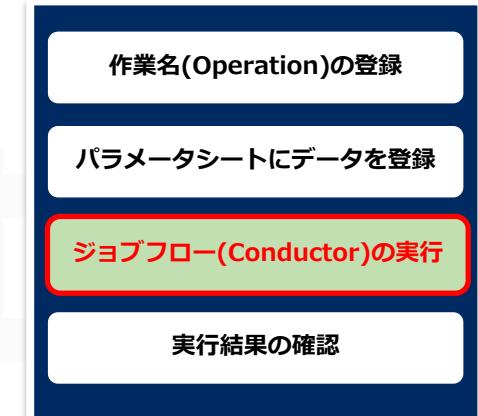
At the very bottom of the interface, there is a footer bar with icons for '管理者に連絡' (Contact Admin), '戻る' (Back), and '次へ' (Next).

5.3 ジョブフロー(Conductor)の実行(2/3)

作業結果確認

- 実行すると「Conductor作業確認」メニュー画面に切替わり、実行ステータスやログが表示されます。

The screenshot shows the Exastro Conductor interface. On the left is a sidebar with various menu items. The main area displays a job flow diagram with three nodes: 'Conductor Start' (S), 'Ansible Legacy' (DONE), and 'Conductor End'. The 'Ansible Legacy' node has the label 'パッケージインストール'. Below the diagram is a log window. On the right, there are two panels: one for 'Conductor' details and one for 'Operation' details. The 'Conductor' panel shows 'Conductor name: パッケージインストール', 'Status: 正常終了', 'Start time: 2021/12/16 14:38:02', 'End time: 2021/12/16 14:39:47', 'Execution user: システム管理者', and 'Reservation date:'. The 'Operation' panel shows 'Operation ID: 22' and 'Operation name: オペレーション2'.



Point

実行ステータスやログをリアルタイムで確認可能です。

5.3 ジョブフロー(Conductor)の実行(3/3)

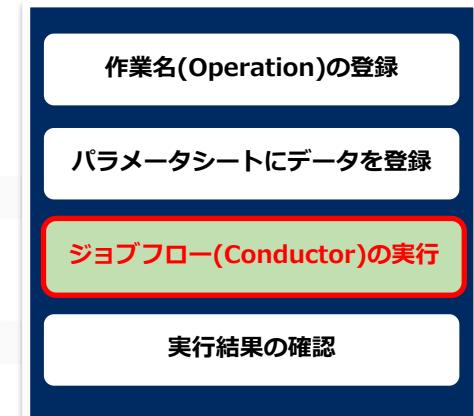
作業結果確認

- ジョブ(Movement)を選択し、Doneのアイコンまたは右側のOperation statusをクリックすると詳細が表示されます。

The screenshot shows the Exastro Conductor interface. On the left, there's a navigation menu with items like 'Menu', 'Checking', 'Ansible Legacy', 'DONE', 'Conductor', 'Start', 'OUT', 'IN', 'End', and 'DONE'. A red callout bubble labeled '1 選択' points to the 'Ansible Legacy' button. Below the menu is a large workspace with a flowchart. In the center, there's a detailed view of a selected movement operation. The right side of the screen shows a log window.

Selected Movement Operation Details:

項目	値
Node type	movement
Node instance ID	192
Node name	node-3
Status	正常終了
Status file	
Start time	2021/12/16 14:38:02
End time	2021/12/16 14:39:44
Operation status	作業実行確認
Specified individual operation	
Operation ID	
Operation name	



5.4 実行結果の確認(1/2)

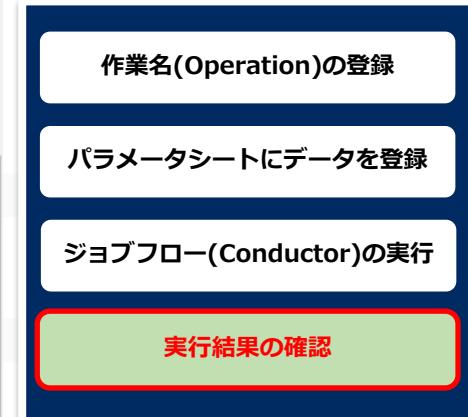
作業結果確認

- 詳細画面の進行状況(実行ログ)でAnsibleの実行ログを確認します。

The screenshot shows the Ansible execution log details. On the left, there's a sidebar with various menu items. In the center, a table displays input and output data, and a log viewer window is open. The log viewer has two tabs: '進行状況(実行ログ)' and '進行状況(エラーログ)'. The '進行状況(実行ログ)' tab is selected and contains the following log output:

```
        "update_cache": false,
        "update_only": false,
        "use_backed": "auto",
        "validate_certs": true
    },
    "item": "python",
    "msg": "",
    "rc": 0,
    "results": [
        "results": [
            "All packages providing python are up to date",
            ""
        ]
    ]
}
META: ran handlers
META: ran handlers
PLAY RECAP ****hostA : ok=1    changed=0      unreachable=0      failed=0      skipped=0      rescued=0      ignored=0
```

The '進行状況(実行ログ)' tab is highlighted with a red box.



5.4 実行結果の確認(2/2)

実行ログの確認

- 新たにmariadbのインストールと他のパッケージとの依存関係の解決、他の4つのパッケージ(httpd,php,perl,python)のバージョンアップが行われていることを確認して下さい。

進行状況(実行ログ)の一部

```
~~~~~省略~~~~~  
"results": ["All packages providing httpd are up to date",  
  ""]}  
~~~~~省略~~~~~  
Installed:  
  mariadb-server.x86_64 1:5.5.68-1.el7  
Dependency Installed:  
  mariadb.x86_64 1:5.5.68-1.el7  
  perl-Compress-Raw-Bzip2.x86_64 0:2.061-3.el7  
  perl-Compress-Raw-Zlib.x86_64 1:2.061-4.el7  
  perl-DBD-MySQL.x86_64 0:4.023-6.el7  
  perl-DBI.x86_64 0:1.627-4.el7  
  perl-IO-Compress.noarch 0:2.061-2.el7  
  perl-Net-Daemon.noarch 0:0.48-5.el7  
  perl-PIRPC.noarch 0:0.2020-14.el7  
Dependency Updated:  
  mariadb-libs.x86_64 1:5.5.68-1.el7  
Complete!  
"]}  
~~~~~省略~~~~~  
"results": ["All packages providing php are up to date",  
  ""]}  
~~~~~省略~~~~~  
"results": ["All packages providing perl are up to date",  
  ""]}  
~~~~~省略~~~~~  
"results": ["All packages providing python are up to date",  
  ""]}
```

作業名(Operation)の登録

パラメータシートにデータを登録

ジョブフロー(Conductor)の実行

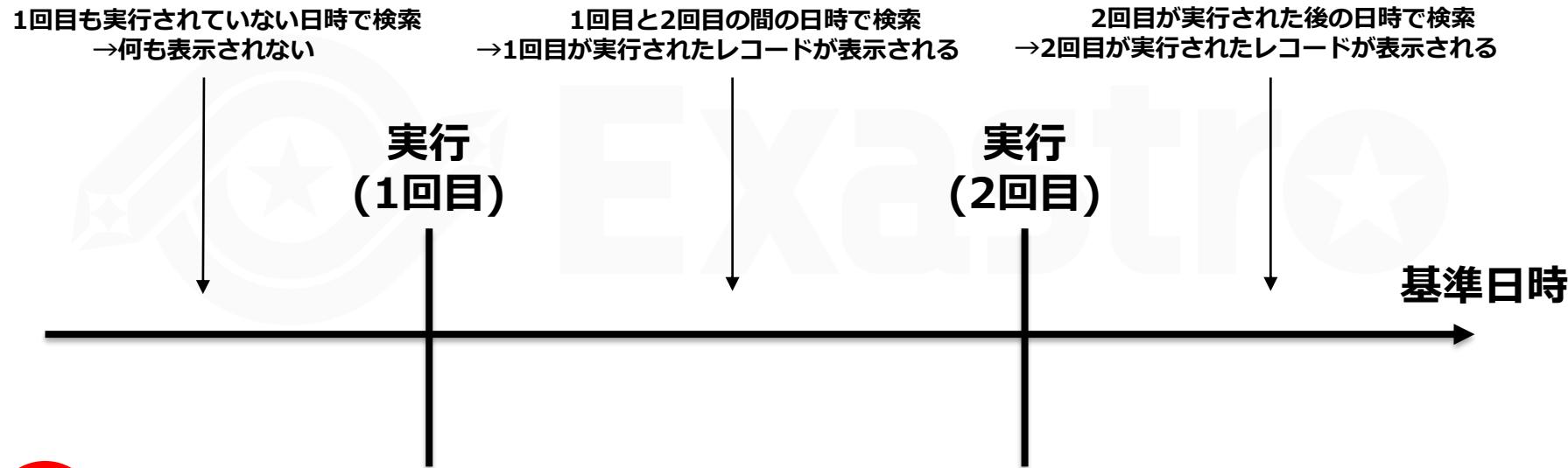
実行結果の確認

6. CMDBパラメータの履歴確認

6.1 作業実行と履歴管理

履歴管理と本シナリオのポイント

- ITAはCMDBに「誰が・いつ・何をしたのか？」を履歴管理し、その時の時点でシステムのパラメータはどうなっているのかを抽出できる機能があります。パラメータの履歴管理することにより、設計者や運用者がストレスなくシステム更改を行うことができます。



Point

今回のクイックスタートではパラメータの履歴管理を体験していただくために、実行を2回行いました。

6.2 CMDBパラメータの履歴を確認する(1/3)

履歴確認

- 実際にパラメータが管理できているかどうか確認をしていきます。
「参照用」メニューグループ >> 「インストールパッケージ一覧」メニューをクリック。
まずは基準日付を入力せずにフィルタをかけます。(次ページへ続く)

The screenshot shows the Exastro IT Automation interface. The top navigation bar includes the Exastro logo, a user profile for 'システム管理者さん' (System Manager), and links for 'Role', 'Password Change', and 'Logout'. The left sidebar has a 'Menu' section with 'Main Menu' and 'Install Package List' selected. The main content area has two tabs: '説明' (Description) and '一覧' (List). The 'List' tab displays a table with columns: 基本 (Basic), No (No), ホスト名 (Host Name), ID (ID), オペレーション名 (Operation Name), 基準日時 (Baseline Time), 実施予定日時 (Implementation Scheduled Date), 最終実行日時 (Last Execution Date), オペレーション (Operation), パラメータ (Parameters), アクセス (Access), 最終更新日時 (Last Update Date), and 最終更新者 (Last Updated By). A single row is shown: 基本 (2), ホスト名 (hostA), ID (22), オペレーション名 (オペレーション2), 基準日時 (2021/12/17 14:44), 実施予定日時 (2021/12/16 13:25), 最終実行日時 (2021/12/17 14:44), オペレーション (httpd), パラメータ (mariadb-server, php, perl, python), アクセス (許可), 最終更新日時 (2021/12/17 14:44:28), and 最終更新者 (システム管理者). The table is highlighted with a red border. Below the table, it says 'フィルタ結果件数: 1'. Buttons for 'Excel出力' (Export to Excel) and '全件ダウンロード' (Download All) are visible. A bottom navigation bar includes '管理者に連絡' (Contact Manager), a search icon, and '変更履歴' (Change History).

1 インストールパッケージ一覧

2 何も入力せずにフィルタをクリック

3 フィルタ

4 現時点での最新のデータが表示されることを確認する

6.2 CMDBパラメータの履歴を確認する(2/3)

履歴確認

- 次に2回目の実行を行った基準日時より前の日付を入力してフィルタをかけます。
(次ページへ続く)

The screenshot shows the Exastro IT Automation interface with the following steps highlighted:

- 1** In the "Filter" dialog, the "Baseline Date" field is set to "2021/12/17 14:35". A red box and callout indicate to input the date before the second execution and click the filter button.
- 2** The "Filter" button is highlighted with a red box.
- 3** The results table shows one item: "1 hostA 21 オペレーション 1 2021/12/17 14:32 2021/12/16 12:35 2021/12/17 14:32 * * * * 2021/12/16 13:08:52 システム管理者". A red box and callout indicate to confirm the execution result from the first run is displayed.

履歴	No	ホスト名	ID	オペレーション名	基準日時	実施予定日時	最終実行日時	オペレーション	パラメータ	アクセス	最終更新日時	最終更新者
履歴	1	hostA	21	オペレーション 1	2021/12/17 14:32	2021/12/16 12:35	2021/12/17 14:32	*	*	*	2021/12/16 13:08:52	システム管理者

6.2 CMDBパラメータの履歴を確認する(3/3)

履歴確認

- 最後に1回目の実行を行った基準日時より前の日付を入力してフィルタをかけます。

The screenshot shows the Exastro IT Automation interface with the following steps highlighted:

- 1**: A red circle highlights the "基準日時" (Baseline Date) input field in the "表示フィルタ" (Display Filter) panel. A callout box points to it with the text: "1回目の実行を行った日時より前の日時を入力し フィルタをクリック".
- 2**: A red circle highlights the "フィルタ" (Filter) button in the "表示フィルタ" panel.
- 3**: A red circle highlights the "変更履歴" (Change History) button in the main content area. A callout box points to it with the text: "何も表示されないことを確認する".

The interface includes a top navigation bar with the Exastro logo, user information (ようこそ[システム管理者]さん), and links for ロール (Role), パスワード変更 (Change Password), and ログアウト (Logout). The left sidebar has a menu with "Menu", "メインメニュー" (Main Menu), and "インストールパッケージ一覧" (List of Installed Packages).

A 付録



参考① 【Ansible-Legacy】 単体実行

作業実行

- Ansible-Legacyは「作業実行」メニューがあり Movementごとに個別実行や、ドライランが可能です。

The screenshot shows the Ansible-Legacy application interface. On the left, there's a sidebar with various menu items like 'Movement一覧' and '作業実行'. The main area has two tabs: 'Movement[一覧]' and 'オペレーション[一覧]'. The 'Movement[一覧]' tab is active, displaying a table with one row selected (MovementID 2). The 'オペレーション[一覧]' tab shows a table with two rows (Operation 21 and 22). At the bottom, there are two buttons: 'ドライラン' and '実行'.

1 作成済みのMovementを選択

2 Movementと紐づいたオペレーションを選択

3 ドライラン
: プレイブックの接続確認/構文チェック
実行
: プレイブックを実行

選択	MovementID	Movement名	オーケストレータ	遅延タイマー	Ansible利用情報	最終更新日時	最終更新者
<input checked="" type="radio"/>	2	パッケージインストール Ansible Legacy	IP		ホスト指定形式: WinRM接続: virtualenv: ヘッダーセクション: なし	2021/12/17 11:34:12	システム管理者

選択	No.	オペレーションID	オペレーション名	実施予定日時	最終実行日時	アクセス権	備考	最終更新日時	最終更新者
<input checked="" type="radio"/>	21	21	オペレーション1	2021/12/16 12:35	2021/12/17 14:32	マスター権限		2021/12/17 14:32:56	legacy/作業実行プロジェクト
<input type="radio"/>	22	22	オペレーション2	2021/12/16 13:25	2021/12/17 14:44	マスター権限		2021/12/17 14:44:54	legacy/作業実行プロジェクト

参考② 【Ansible-Legacy】 実行確認

作業結果確認

- 実行(またはドライラン)すると画面が切替わり、実行ステータスやログが表示されます。

The screenshot shows the Ansible-Legacy interface within the Exastro IT Automation platform. On the left, a sidebar menu includes 'Menu' (Main Menu, Movement, Playbook), 'Movement-Playbook紐付', '代入値自動登録設定', '作業対象ホスト', '代入値管理', '作業実行', '作業状態確認', and '作業管理'. The main area displays the '説明' (Explanation) screen for a task named '対象作業'. This screen contains a table with various parameters and their values, such as '作業ID' (Job ID), '実行種別' (Execution Type), 'ステータス' (Status), '実行エンジン' (Execution Engine), '呼出元Symphony' (Source Symphony), '呼出元Conductor' (Source Conductor), '実行ユーザ' (Execution User), 'Movement' (Movement) settings like 'ID', '名称' (Name), '遅延タイム(分)' (Delay Time), 'Ansible利用情報' (Ansible Usage Information), 'WinRM接続' (WinRM Connection), 'オペレーション' (Operation) settings like 'NO.', '名称' (Name), 'ID', and '作業対象ホスト' (Job Target Host) status. A red box highlights the '代入値' (Input Value) section where '入力データ' (Input Data) is set to 'InputData_0000000116.zip' and '出力データ' (Output Data) is set to 'ResultData_0000000116.zip'. Below this is the '進行状況(実行ログ)' (Execution Status (Execution Log)) section, which is currently empty. A red arrow points from this section to a callout labeled 'Point'.

Point 実行ステータスや、
投入データが確認可能です。

実行ログやエラーログを
リアルタイムで確認可能です。

Point 投入データや結果データを
ダウンロードすることも可能です。

The right side of the interface shows two log windows: '進行状況(実行ログ)' (Execution Status (Execution Log)) and '進行状況(エラーログ)' (Execution Status (Error Log)). The execution log window shows a table of task details with columns for '実行ID' (Execution ID), '状況' (Status), and '回数' (Count). The error log window shows a list of errors with columns for 'メッセージ' (Message), '状況' (Status), and '回数' (Count).



Exastro